

臨床麻酔部

■ スタッフ

教授	亀井 政孝
講師	境 倫宏
	松成 泰典
助教	坂倉 庸介
	住吉 美穂
	米倉 寛
	中森 裕毅
医員	10人
麻酔支援看護師	2人

■ 部門の特色

臨床麻酔部は中央手術室における麻酔と手術室以外での全身麻酔が必要な検査、治療の麻酔管理を担当しています。近年手術治療はめざましい進歩をとげてきましたが、これは麻酔の進歩抜きには考えられません。当部門では最新の麻酔薬、器具、モニタを整備し安全な麻酔管理を提供しています。また外科医と良好なコミュニケーションをとり、最良の治療を提供しています。

■ 診療体制と実績

1. 業務体制

1) 中央手術室における手術麻酔

中央手術室には16の手術室があります。通常12件の手術が同時に進行します。このうち局所麻酔で行われる小手術以外のすべての手術の麻酔管理をすべて担当しています。

2018年度より亀井政孝先生が教授となられ、新しいスタッフも加入しました。従来のメンバーと新入医局員を含む新メンバーが丸となって、より充実した診療体制を整備すべく日々努力しています。

2) サテライトファーマシー

手術室内に薬剤師2人が常駐しています。主な業務は(1)患者ごとに用意した麻酔薬、輸液、抗生剤などの薬剤セットの各手術室への配置、(2)麻薬、筋弛緩薬の払い出しと使用後の処理、(3)硬膜外持続注入用インフューザポンプの充填と配置、(4)観血的動脈圧測定用エア抜きヘパリン化生食500mlの用意、(5)小児・成人麻酔の薬液調整などです。麻薬、筋弛緩薬の管理は重要ですが、これらを薬剤師が管理するため、麻酔科医は本来の業務に専念できます。

3) 手術室管理システム

当院では手術室管理システム/自動麻酔記録装置としてH24年1月からCIS-OR (clinical information system OR)を採用しています。また、16全ての手術

室の生体モニタを一括管理できるシステムを整備し始めました。これによってタブレット端末ですべての手術室の生体モニタを監視でき、患者の病的変化に素早く複数人で対応することが可能となります。

これは患者により良い医療を提供するだけでなく、医療安全にも配慮した診療を行うのに役立ちます。

2. 臨床研究等の実績

手術件数	1) 総手術件数	7714件
	2) 麻酔部管理症例件数	5674件
	3) 放射線部等検査麻酔	2040件

■ 当科スタッフの取得専門医

麻酔科医にとって麻酔科専門医の取得はもちろん目標ですが、当科ではサブスペシャリティとしての専門資格を取得することを推奨しています。日本集中治療専門医・日本心臓血管麻酔専門医・日本小児麻酔学会認定医・日本区域麻酔学会認定医などです。これらの取得を目標とすることは、麻酔科医として1人前になった後でも目標を持ち続けて医師として成長し続けることに役立ちます。

また、日本周術期心エコー認定試験の合格も目標の一つです。合格率が40%程度の難しい試験ですが、2019年も後期研修医の合格者がいました。

■ 診療内容の特色と治療実績

当院には全ての外科系診療科がそろっているために豊富な症例数があり、また大学病院という性質上、重症患者・特殊疾患の手術も多数行われています。これらに対して当科はチームで協力し合って日々の診療を行っています。

また、小児の大手術も多く行われています。小児でも当然痛みを感じる上、痛みを言葉で伝えることができず、術後外科医が苦慮するところです。臨床麻酔部では小児硬膜外麻酔を積極的に行い、外科医、患児の親から好評を得ています。

■ 今後の展望

社会の高齢化が進む中、従来手術が適応でなかった患者さんが手術を受けられるようになっていきます。その中でハイリスクな患者さんも増えており、周術期の安全性を保つことが求められています。また、ロボット支援下手術など新しい手術も誕生し、麻酔管理は以前よりも理解すべきことが多くなっています。その中で、当科は多くの専門施設と連携し、また学会等で積極的な活動を行うことで科としての体力を蓄え、より良い周術期管理の向上を目指しています。